

## 令和2年度西部クリーンセンター放射性物質濃度等測定結果

●焼却灰等放射性物質濃度（単位：焼却灰等<sup>ベクレル</sup>Bq/kg）

### 第1回

採取日	検体	放射性セシウム134	放射性セシウム137	放射性セシウム合計
令和2年5月25日	飛灰 <sup>※1 ※4</sup>	不検出	58	58
	焼却残渣 <sup>※2</sup>	不検出	不検出	不検出
	炉砂 <sup>※3</sup>	不検出	24	24

### 第2回

採取日	検体	放射性セシウム134	放射性セシウム137	放射性セシウム合計
令和2年8月7日	飛灰 <sup>※1 ※4</sup>	不検出	40	40
	焼却残渣 <sup>※2</sup>	不検出	10	10
	炉砂 <sup>※3</sup>	不検出	22	22

### 第3回

採取日	検体	放射性セシウム134	放射性セシウム137	放射性セシウム合計
令和2年11月19日	飛灰 <sup>※1 ※4</sup>	不検出	39	39
	焼却残渣 <sup>※2</sup>	不検出	10	10
	炉砂 <sup>※3</sup>	不検出	17	17

### 第4回

採取日	検体	放射性セシウム134	放射性セシウム137	放射性セシウム合計
令和3年2月12日	飛灰 <sup>※1 ※4</sup>	不検出	31	31
	焼却残渣 <sup>※2</sup>	不検出	不検出	不検出
	炉砂 <sup>※3</sup>	不検出	16	16

※1 飛灰とは、ろ過集じん器などで捕集した排ガスに含まれているダスト（ばいじん）をいう。

※2 焼却残渣とは、燃やしたごみに含まれる未燃分（主に小石や金属類）をいう。

※3 炉砂とは、流動床式焼却炉においてごみを燃やすために用いる砂のことをいう。

※4 重金属の溶出を防ぐための薬剤処理を行っていない状態の検体を採取。

●敷地境界空間放射線量（単位： $\mu$  S v /時）  
マイクロシーベルト

第1回

測定日	東側	西側	南側	北側	バックグラウンド*
令和2年4月28日	0.07	0.05	0.06	0.07	0.05

第2回

測定日	東側	西側	南側	北側	バックグラウンド*
令和2年5月27日	0.07	0.06	0.06	0.07	0.05

第3回

測定日	東側	西側	南側	北側	バックグラウンド*
令和2年6月24日	0.06	0.05	0.06	0.06	0.05

第4回

測定日	東側	西側	南側	北側	バックグラウンド*
令和2年7月29日	0.07	0.05	0.06	0.07	0.06

第5回

測定日	東側	西側	南側	北側	バックグラウンド*
令和2年8月26日	0.06	0.05	0.05	0.06	0.05

第6回

測定日	東側	西側	南側	北側	バックグラウンド*
令和2年9月30日	0.06	0.05	0.06	0.07	0.05

第7回

測定日	東側	西側	南側	北側	バックグラウンド*
令和2年10月28日	0.07	0.06	0.06	0.07	0.05

第8回

測定日	東側	西側	南側	北側	バックグラウンド*
令和2年11月25日	0.07	0.06	0.06	0.07	0.05

第9回

測定日	東側	西側	南側	北側	バックグラウンド*
令和2年12月23日	0.07	0.06	0.06	0.07	0.06

第10回

測定日	東側	西側	南側	北側	バックグラウンド*
令和3年1月27日	0.07	0.05	0.06	0.07	0.06

第11回

測定日	東側	西側	南側	北側	バックグラウンド*
令和3年2月24日	0.07	0.05	0.06	0.07	0.05

第12回

測定日	東側	西側	南側	北側	バックグラウンド*
令和3年3月24日	0.07	0.05	0.06	0.07	0.06

※ 1か月に1回の頻度でクリーンセンター職員が測定を実施。

※ 地表面から1mの高さで測定。